

【科目名】 作業療法総合演習 I		【担当教員】 田中 善信
【授業区分】 専門分野(作業療法治療学)	【授業コード】 4-23-0945-0-1	(メールアドレス) y.tanaka@nur05.onmicrosoft.com
【開講時期】 3 年次 後期	【選択必修】 必修	(オフィスアワー)
【単位数】 2 単位	【コマ数】 30 コマ	【木曜日】 13 : 00 ~ 18 : 00
<p>【注意事項】</p> <p>(受講者に関わる情報・履修条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に模擬試験を実施し、その成績等を踏まえたグループ編成を行なう。そのグループによる演習が中心で行うこと。</li> <li>・ 個人で実施肢体という申し出に関しては、原則としては認めない。ただし、確認テストに関して基準以上の点数および偏差値を継続的に満たしている場合は認めることがある。</li> </ul> <p>(受講のルールに関わる情報・予備知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解剖学、生理学、運動学、臨床医学系科目など、2 年までに履修した科目を復習しておくこと。</li> <li>・ 臨床評価実習前に設定されている科目である。評価実習で求められる統合と解釈をする上で、基礎的知識が重要となるため、振り返り、自身の到達度を確認してほしい。</li> <li>・ 指定教科書は学習ポイントが整理されているが内容は不十分であるため、指定した範囲の内容に合わせたテキストを各自持参し、合わせて学習を進めること。</li> <li>・ 必ずしもシラバス通りの流れで実施する必要は無いが、確認テストはシラバスの内容に合わせて出題するため、各グループは進行計画を慎重に立てる必要がある。</li> </ul>		
<p>【講義概要】</p> <p>(目的)</p> <p>作業療法の知識、技術の総まとめを行うとともに、専門職業人としての態度、基本的臨床実践能力を身につける。</p> <p>(方法)</p> <p>作業療法を実施するにあたって必要な基礎・臨床医学と作業療法との関連性を総合的に学ぶ。</p>		
<p>【一般教育目標(GIO)】</p> <p>人体を包括的に理解する</p> <p>【行動目標(SBO)】</p> <p>下記項目の細目を説明することができる</p>		
<p>【教科書・リザーブドブック】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳澤健 「理学療法士・作業療法士 ブルーノート基礎編」 メディカルビュー 2010 年</li> </ul>		

平成 26～28 年度入学者用

<b>【参考書】</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元に沿ったテキストやプリント（各自が保有しているもの） （※ 国家試験対策用のテキストは使用は認めない）</li> </ul>									
<b>【評価に関わる情報】</b>									
(評価の基準・方法) <ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価基準は、本学学則規程の GPA 制度に従う。</li> <li>教科書の単元に沿った確認テストを実施し、偏差値を算出する。</li> <li>グループワーク終了後には、振り返りシートを記入してもらう。</li> </ul>									
<b>【達成度評価】</b>		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合			50				50		100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識		25						25
	思考・推論・創造の力		25						25
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢						50		50
<b>【授業日程と内容】</b>									
回数	講義内容				授業の運 営方法		学修課題(予習・復習)	時 間 (分)	
1	・コースオリエンテーション ・解剖学①（総論、細胞と組織）				グループ演習		教科書（p2-5）の範囲 に該当する内容を復習 すること	90	
2	解剖学② （骨格系：骨の構造と分類、関節の構造、頭蓋、脊 柱、胸郭）				グループ演習		教科書（p6-15）の範囲 に該当する内容を復習 すること	90	
3	解剖学③（骨格系：上肢・下肢）				グループ演習		教科書（p16-26）の範 囲に該当する内容を復 習すること	90	
4	解剖学④（筋系：構造、上肢、下肢）				グループ演習		教科書（p17-34）の範 囲に該当する内容を復 習すること	90	
5	解剖学⑤（筋系：体幹、表情筋、咀嚼筋、触診、断 層解剖）				グループ演習		教科書（p35-61）の範 囲に該当する内容を復 習すること	90	
6	解剖学⑥（神経系、脈管系）				グループ演習		教科書（p62-87）の範 囲に該当する内容を復 習すること	90	
7	解剖学⑦（内蔵諸器官）				グループ演習		教科書（p88-101）の範 囲に該当する内容を復 習すること	90	
8	生理学①（総論、細胞生理、筋）				グループ演習		教科書（p102-116）の 範囲に該当する内容を 復習すること	90	
9	生理学②（神経）				グループ演習		教科書（p117-132）の	90	

平成 26～28 年度入学者用

			範囲に該当する内容を復習すること	
10	生理学③ (感覚、発声・構音・音声)	グループ演習	教科書 (p133-144) の範囲に該当する内容を復習すること	90
11	生理学④ (運動、自律神経、呼吸、循環)	グループ演習	教科書 (p145-166) の範囲に該当する内容を復習すること	90
12	生理学⑤ (血液・免疫、咀嚼・嚥下・消化・吸収、排尿・排便)	グループ演習	教科書 (p167-185) の範囲に該当する内容を復習すること	90
13	生理学⑥ (内分泌・栄養・代謝、体温調節、生殖、老化)	グループ演習	教科書 (p186-209) の範囲に該当する内容を復習すること	90
14	運動学① (力の基礎、運動器の構造と基礎、運動の中樞神経機構、運動とエネルギー代謝)	グループ演習	教科書 (p211-238) の範囲に該当する内容を復習すること	90
15	運動学② (四肢と体幹の運動：頭部、上肢)	グループ演習	教科書 (p239-251) の範囲に該当する内容を復習すること	90
16	運動学③ (四肢と体幹の運動：体幹、下肢)	グループ演習	教科書 (p252-267) の範囲に該当する内容を復習すること	90
17	運動学④ (運動分析、姿勢、正常歩行)	グループ演習	教科書 (p268-277) の範囲に該当する内容を復習すること	90
18	運動学⑤ (運動学習、病態運動学、運動処方)	グループ演習	教科書 (p278-285) の範囲に該当する内容を復習すること	90
19	人間発達学	グループ演習	教科書 (p286-307) の範囲に該当する内容を復習すること	90
20	医学概論、臨床医学概論、	グループ演習	教科書 (p310-331) の範囲に該当する内容を復習すること	90
21	リハビリテーション医学	グループ演習	教科書 (p332-371) の範囲に該当する内容を復習すること	90
22	臨床心理学	グループ演習	教科書 (p372-383) の範囲に該当する内容を復習すること	90
23	精神障害と臨床医学	グループ演習	教科書 (p384-413) の範囲に該当する内容を復習すること	90
24	骨関節障害と臨床医学	グループ演習	教科書 (p414-447) の範囲に該当する内容を復習すること	90
25	神経・筋系の障害と臨床医学	グループ演習	教科書 (p448-486) の範囲に該当する内容を復習すること	90

平成 26～28 年度入学者用

26	小児発達障害と臨床医学	グループ演習	教科書 (p487-493) の範囲に該当する内容を復習すること	90
27	内部障害と臨床医学	グループ演習	教科書 (p494-521) の範囲に該当する内容を復習すること	90
28	老年期障害と臨床医学	グループ演習	教科書 (p524-526) の範囲に該当する内容を復習すること	90
29	保健医療福祉	グループ演習	教科書 (p528-533) の範囲に該当する内容を復習すること	90
30	リハビリテーション概論	グループ演習	教科書 (p535-543) の範囲に該当する内容を復習すること	90

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。